

第23期(令和元年11月～令和4年10月)

【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】

- 企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
- 「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する
- コロナ禍を乗り越える中小企業の事業継続・雇用維持を全力で支援する

重点テーマ

事業承継・創業起業

- 地域経済の活力強化には、事業承継や創業起業を支え、魅力的な雇用の創出、産業集積の維持・発展が不可欠。
- 愛知県事業承継・引継ぎ支援センター 豊橋サテライトの設置を契機に相談件数が飛躍的に増加。支援機関に寄せられる創業・起業の案件数も拡大傾向にある。
- 相談ニーズの一層の掘り起こしとともに、M&Aや継業など多様な事業承継・事業引継ぎへの対応、伴走型による事業計画策定を通じたきめ細かな創業支援を展開する。

消費税インボイス制度

- 導入開始の令和5年10月が迫るなか、多くの中小企業は特段の準備を進めておらず、制度理解を促す必要がある。
- 課税事業所が、免税事業所との取引を排除する懸念も。適格請求書発行事業所の登録を進める場合、会計処理や経理業務を大きく見直す必要があるが、対応できる人材を抱えていないため負担増に。
- 改正電子帳簿保存法の対応を含め、経営分析にも活用できるバックオフィス業務のデジタル化を応援する。

デジタルシフト・DX

- コロナ禍により、中小企業においても、テレワークやクラウドの活用が進んだ。その流れを加速させる、生産性向上や競争力強化を果たす分野へのIT導入が欠かせない。
- 人口減少など社会課題を解決し、暮らしやすさを実現するため、教育や医療、福祉などあらゆる分野にテクノロジーを活用し、地域社会全体のDXを進める必要性も。
- 企業支援や地域活性化に加え、商工会議所運営にも、デジタル技術を積極活用し、付加価値向上に努める。

産学官連携

- 地域のリソースを最大限に有効活用し、地域社会や企業活動においてイノベーションを起こし、課題解決を図るため、産学官が有機的に連携することが必要。
- とりわけ新規ビジネス創造やスタートアップ創出、研究シーズの社会実装には、人と人、技術と企業、課題と解決を繋ぎ、寄り添う、コーディネート機能が不可欠。
- 商工会議所自らがコーディネート役を担うほか、連携実現の仕組みづくりを行う。

カーボンニュートラル

- 国際社会全体が、温室効果ガス排出ゼロに向けて急速な変化を始めており、国や地域、事業者、住民など、あらゆる主体に対し、それぞれの立場での具体的な取り組みが求められている。
- 地域企業が、地球温暖化抑制に貢献する脱炭素経営に、いち早く乗り出し、事業基盤や競争力の強化を図り、持続的な成長へ繋げるため、必要性やメリット、実践手法を積極的に提示し、脱炭素化シフトを後押しする。

地域づくり・まちづくり

- 多様な主体と連携・共創し、豊橋・東三河の持続的発展や魅力創造に貢献する、総合的経済団体の役割を發揮。
- 公共空間活用や新たな賑わい創出による中心市街地の魅力づくりとプラットフォーム形成。
- 産業構造の変化や地域産業の未来を展望した、新たな三河港の役割や機能、運営の見直し。
- 移住の流れを呼び込む、スタートアップ支援や子育て、学び直し、職業紹介など、魅力的な環境づくり。

6本の事業の柱

I. コロナ禍の克服と地域経済の活力強化

《事業の柱①》 自己変革で持続的成長に挑戦する中小企業支援

- 1) 新型コロナウイルス感染症の影響克服支援
- 2) 自己変革による課題解決に寄り添う伴走支援

《事業の柱②》 デジタルシフトと人材確保・育成

- 1) 加速するデジタル化への対応支援
- 2) 人材確保・活躍支援
- 3) 人材育成・雇用安定

《事業の柱③》 地域の強みを活かした産業形成・産業振興

- 1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携
- 2) 商業・サービス業振興
- 3) ものづくり振興
- 4) 観光振興

II. 新たな潮流を捉えた魅力ある地域づくり

《事業の柱④》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

- 1) ニーズに基づいた政策提言・要望
- 2) 実現性強化と成果の見える化

《事業の柱⑤》 界を越えた連携と共創による地域づくり

- 1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進
- 2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

III. 企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑥》 商工会議所の組織基盤・プレゼンス強化

- 1) 創立130周年事業の企画・実施〔メモリアルイヤー：令和5年3月～令和6年2月〕
- 2) 組織・財務基盤の強化
- 3) 運営体制の充実・強化

第23期(令和元年11月～令和4年10月)
【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
 ～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】
 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
 ●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する
 ●コロナ禍を乗り越える中小企業の事業継続・雇用維持を全力で支援する

【取り組みの現状】
 ※下線の数値は第3四半期末実績

一新型コロナ感染症関連事業等一
 ・相談・支援/999件
 ・安全安心おもてなし宣言飲食店認証/302件
 ・豊橋市プレミアム付電子商品券 TOYOPay/登録店募集、利用促進PR
 ・各種オンライン対応/部会総会、合同企業説明会、モグジョブ、セミナー・講演会、議員昼食会など

一中小企業支援一
 ・巡回・窓口相談/1,357件
 ・マル経融資/13件・9,050万円
 ・創業支援/相談件数 160件・新規創業者数 6件
 ・事業承継診断/11件
 ・BSC専門家派遣/75件
 ・補助金申請支援/93社

一人材確保・育成・生産性向上一
 ・合同企業説明会等/6回開催、企業 238社、学生数 254名
 ・無料職業紹介所/求人数 726名・求職者 153名
 ・オンラインモグジョブ/開催数 10回・参加事業所数 45社・参加学生数 103名
 ・とよはし健康宣言事業所数/123件(11月末時点)
 ・IT化、IoT導入支援/4件
 ・セミナー・講習会/21講座・488名
 ・パソコン教室/のべ受講回数 15,381回・のべ受講者数 261名
 ・ビジネスパーク(春・秋)/講師数 194名・派遣校 21校・参加生徒 3,406名

一産業振興一
 ・東三河産業創出協議会/三遠南信商談会、ものづくり博企画検討など
 ・東三河産学官金連携形成委員会の設置、イノベーションフェアの開催
 ・“地域の絆”情報交換・商談会/参加 143社・商談 280件(予定)

【感染症の影響で中止した主な事業等】
 ・イベント関連/炎の祭典(スピンオフ企画、弥生炎の舞)、ええじゃないか豊橋まつり、豊橋みなとフェスティバル、高等学校エコーレース総合大会、GoTo商店街事業
 ・会員向け事業/婚活パーティー、会員懇談会、モグジョブ(学食開催)

I. コロナ禍の克服と地域経済の活力強化

【主な取り組み・達成目標】

《事業の柱①》 自己変革で持続的成長に挑戦する中小企業支援

- 1) 新型コロナウイルス感染症の影響克服支援**
 ① 苦境に立つ中小企業の事業継続・売上回復に向けた経営相談の対応強化
 ② 国・愛知県・豊橋市の関連支援施策の周知徹底と活用サポート
2) 自己変革による課題解決に寄り添う伴走支援
 ① M&Aや継業など、多様化する事業承継に対応した、価値あるビジネスの引継ぎ支援
 ② 消費税インボイス制度の周知やデジタル化等による対応準備支援
 ③ 社会や市場の変化に対応した支援強化(創業起業、事業再構築、販路拡大、BCP等)

- 事業再構築や収益回復に繋げる、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への対応
- 事業計画策定を軸にした伴走型支援の推進
- 事業再構築、事業承継、創業等の事業計画策定支援：250件
- 補助金申請支援：100件、目標採択率：70%以上

《事業の柱②》 デジタルシフトと人材確保・育成

- 1) 加速するデジタル化への対応支援**
 ① デジタル化未着手層の啓発による「気づき」から「導入」への後押し
 ② IT企業と連携した相談体制の構築によるデジタル導入・DXの積極支援
 ③ 新たな市場獲得を図る海外越境EC活用支援
2) 人材確保・活躍支援
 ① 都市から地方への流れを取り込んだ、移住人材をターゲットとした職業紹介の推進
 ② 学生就職情報センターやモグジョブ等による人材確保
 ③ 高齢者や女性、外国人の活躍を進める企業の取り組み支援や好事例の見える化
 ④ 健康経営の普及啓発を通じた、企業の採用力・定着率の向上支援
3) 人材育成・雇用安定
 ① セミナー・講習会の充実とオンライン化の推進
 ② 従業員や就労希望者のリカレント教育や学び直し、資格取得の推進支援
 ③ ビジネスパーク事業による将来の地域と企業を担う人材の育成

- 専門家やIT企業と連携したIT化・IoT導入支援
- 相談支援件数/50社
- IT導入支援委員会による、デジタルシフトの啓発、並びに支援体制・支援メニューの構築
- 業種・業界の課題に即したIT活用テーマによる部会活動の活性化
- 地域内の就労希望者に大都市圏のUIターン移住希望人材を加えた、転職・再就職の支援を通じた地域会員事業所の人材確保支援
- 各種検定試験のWEB化に伴う受験者の拡大
- 日商/簿記検定・リテールマーケティング検定
- 東商/eco検定・ビジネスマネージャー検定等

《事業の柱③》 地域の強みを活かした産業形成・産業振興

- 1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携**
 ① 東三河スタートアップ推進協議会やステーションAiを通じたスタートアップの創出支援や地域外からの呼び込み
 ② 東三河産業創出協議会を軸とした新事業創造・マッチングの支援
 ③ 東三河産学官金連携形成委員会をプラットフォームとした、研究シーズの社会実装推進やものづくり企業の課題解決支援
 ④ 地域の絆情報交換・商談会など、多様なネットワークを活かしたビジネスマッチングの支援
2) 商業・サービス業振興
 ① がんばろう！商店街事業をはじめ喪失した需要を取り戻す消費喚起事業の実施
 ② 業種・業界の枠組みを越えたテストマーケティングの展開
3) ものづくり振興
 ① ものづくり博2022in東三河の開催
 ② サプライヤー企業の成長を促す技術提案型の商談会の実施
4) 観光振興
 ① ウィズコロナ時代の観光ニーズを捉えた炎の祭典の開催
 ② 交通ネットワークや宿泊施設などの都市機能の総合力を発揮した国内外のMICE誘致

- Startup GarageやCLUE、emCAMPUSなどと連携した「農業や食」に関するスタートアップの創出や地域中小企業のイノベーションの促進
- 豊橋・長岡技術科学大学や全国高専が横断的に構築した、AIシーズ検索システム「研究シーズの泉」を活用した産学連携による共同研究・社会実装の推進
- 三遠南信、愛知県、東三河など、広域的な産業支援機関や大学のネットワークを活かした、販路開拓、取引拡大、テストマーケティングなど多様なビジネスチャンスの創出につながる商談会・マッチングの展開
- 商談・マッチング件数：350件
- 東三河ものづくり関連産業の強みを内外に発信するとともに、次世代ものづくり人材の育成支援を目的とした「ものづくり博2022in東三河」の開催
- 目標来場者数：10,000人(2日間合計)

第23期(令和元年11月～令和4年10月)
【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
 ～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】
 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
 ●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する
 ●コロナ禍を乗り越える中小企業の事業継続・雇用維持を全力で支援する

【取り組みの現状】

一調査事業一

- ・景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査

一政策提言・要望活動一

- ・浜松湖西豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、名浜道路等の整備促進
- ・三河港の整備促進（港湾計画改訂検討含む）
- ・設楽ダム建設促進
- ・豊橋市との政策懇談会の開催
- ・豊橋市議会との意見交換会の開催
- ・愛知県商工会議所連合会（三河ブロック）と中部地方整備局の意見交換会の開催

一広域連携による地域づくり一

- ・東三河スタートアップ推進協議会の設立、シリーズイベントの開催
- ・東三河広域連合「東三河DMO研究会」への参画
- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議／新連携ビジョンの推進、三遠南信サミット2021in東三河の開催

一中心市街地活性化一

- ・(株)豊橋まちなか活性化センターの組織・事業改革
- ・とよはしキラキラ☆イルミネーション

【感染症の影響で中止した主な事業等】

- ・豊橋ひろこうじ歩行者天国

II.新たな潮流を捉えた魅力ある地域づくり

《事業の柱④》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望

- ① 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
- ② 積極的な提言・要望活動の推進
 - ・新型コロナウイルス関連（経済対策、需要喚起、医療体制等）
 - ・中小企業対策・税制・規制緩和
 - ・社会資本整備・地域強靱化・まちづくり
 - ・教育・子育て・就労・居住・公共交通などの生活環境改善

2) 実現性強化と成果の見える化

- ① 課題解決や戦略共有に向けた行政機関等との対話強化
- ② 活動成果の地域・会員へのフィードバック

《事業の柱⑤》 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進

- ① 移住・定住の促進、観光まちづくりの推進などをテーマとした、愛知県東三河総局や東三河8市町村、東三河広域連合との連携事業の展開
- ② 包括連携協定に基づいて豊橋技術科学大学と展開する社内ベンチャー・起業家育成、課題解決型プログラムの展開、中小企業の技術力・開発力の向上の取り組み強化

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

- ① 中心市街地を核とした市域全体の魅力創造の推進
- ② 2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素経営の普及啓発・実践支援
- ③ 新たな物流ニーズを見据えた三河港の役割や機能、運営のあり方に関する検討
- ④ 二川・湖西地区県境域における渋滞、広域防災対策への取り組み

【主な取り組みと達成目標】

- 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実・見直し
- 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るタイムリーな要望提言の実施
- 関係行政機関や各種産業振興組織等と新たな協議の場を設けるなど、産業や地域の課題の共有を進め、共創によって解決を目指し、提言・要望事項の実現強化を図る

- 東三河ビジョン協議会の「移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大」事業への積極的な参画
- 東三河広域連合が進める「東三河DMO構想」実現に向けた取り組み
- 豊橋まちなか活性化センターや豊橋まちなか未来会議（仮称）によるエリアプラットフォーム形成などを通じた中心市街地の魅力創造
- 脱炭素経営の普及啓発を図るセミナー及び実践に繋げる勉強会等の開催

【取り組みの現状】

※下線の数値は第3四半期末実績

- ・会員数/5,146会員・新入会員数 151件
- ・生命共済制度/加入事業所数 968社・口数 6,829口
- ・定期健康診断/利用事業所数：45社、受診者数：182名
- ・労働保険事務委託事業所数/315社
- ・公式ブログによる情報発信/投稿記事数 95回・総PV数 27,206PV（7月～12月）
- ・会館運営等の見直し/WI-FI環境の増速・安定化、機械警備の導入など
- ・会員サービス事業・財政基盤強化における提携先/豊橋市医師会、成田病院、アクサ生命保険、東京海上日動火災、三井住友海上火災、タスキ、ミライフ、プライズメント、資格の大原など

III.企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑥》 商工会議所の組織基盤・プレゼンス強化

1) 創立130周年事業の企画・実施【メモリアルイヤー：令和5年3月～令和6年2月】

2) 組織・財務基盤の強化

- ① 会員サービスメニューの充実化
- ② プレスリリース、会報誌、HP、SNS、メールマガジン、公式ブログ等による発信力強化
- ③ 生保・損保、金融機関、各種業界団体と連携した会員サービス事業の利用促進
- ④ 会員純増に向けた入会促進策・退会防止策の検討・展開
- ⑤ 新たなビジネス創造に繋がる進出企業と地元中小・中堅企業との交流機会の創出
- ⑥ 財政基盤強化（ビル運営・貸会議室、各種保険・共済制度、検定試験など）
- ⑦ 中小企業の雇用安定を図る労働保険事務組合への加入促進

3) 運営体制の充実・強化

- ① 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
- ② 魅力ある地域創造に意欲を持つ会員の参画の場づくり
- ③ デジタル活用等による事業・業務運営の生産性向上、事務局職員の資質向上

【主な取り組みと達成目標】

- 会員サービス委員会を通じ、利用メニューの見直しを図り、会員拡大や運営基盤強化を推進
 - ・ 会員加入促進：新入会員 200件
- 会員メリット拡充や質の高いサービスの提供の原資とするため、財政基盤を強化
 - ・ 「生命共済制度」、「特定退職金制度」の加入促進キャンペーンの実施
 - ・ 生命共済獲得目標口数：1,000口（5カ年）
 - ・ ビル運営の効率化、貸会議室等の設備更新・付加価値向上
- 部会活動活性化により会員との接触機会を拡充
- 令和5年度に開催する日本YEG東海ブロック大会豊橋大会の支援